

## 学修目標一覧

令和6年4月1日  
新潟薬科大学薬学部教務委員会

【番号ルール】

例)	<b>【D】 医療薬学</b>	<b>【D-1】 薬物の作用と生体の変化</b>	<b>【D-1-1】 薬の作用とメカニズム</b>	1) 神経系の構造と機能を生体の恒常性と関連付けて説明する。
	領域(大項目) R+領域	中項目 00+2桁	小項目 2桁	学修目標 2桁 ※K領域除く

R	D	0	0	0	1	0	1	0	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

**B: 社会と薬学**      **F: 臨床薬学**  
**C: 基礎薬学**      **G: 薬学研究**  
**D: 医療薬学**      **K: 教養・語学教育**

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	<b>【B】 社会と薬学</b>	RB	
	<大項目の学修目標>	RB00	
	【B 社会と薬学】では、薬学教育モデル・コア・カリキュラムにおける「A 薬剤師として求められる基本的な資質・能力」を生産にわたって培うために、「C 基礎薬学」、「D 医療薬学」、「E 衛生薬学」、「F 臨床薬学」、「G 薬学研究」を学ぶための基盤として、薬剤師の責務、求められる社会性、社会・地域における活動、医薬品等の規制、情報・科学技術の活用について学修し、医療、保健、介護、福祉を担う薬剤師としての自覚と、社会の変化や多様化を踏まえて国民の健康な生活の確保に貢献する能力を身に付ける。		
	<b>【B-1】 薬剤師の責務</b>	RB0001	
	<b>【B-1-1】 薬剤師に求められる倫理観とプロフェッショナリズム</b>	RB000101	4
	<学修目標>		
1	生命・医療に係る倫理観を身に付け、医療人としての感性を養い、様々な倫理的問題や倫理的状况において主体的に判断し、プロフェッショナルとして行動する。	RB00010101	
2	医療の担い手として、常に省察し、自らを高める努力を惜しまず、利他的に公共の利益に資する行動をする。	RB00010102	
3	医療の担い手として、必要な知識・技能の修得に努め、自身の職業観を養い、生涯にわたり学び続ける価値観を形成する。	RB00010103	
4	薬剤師の使命に後進の育成が含まれることを認識し、ロールモデルとなるよう努める。	RB00010104	
	<b>【B-1-2】 患者中心の医療</b>	RB000102	4
	<学修目標>		
1	患者・患者家族の心理について理解を深め、患者のナラティブや主体的な意思決定を尊重し、支援する。	RB00010201	
2	医療者と患者・患者家族の関係性が治療や健康行動に及ぼす影響について理解し、患者・患者家族の価値観やレディネス(心の準備状態)に合わせて対応する。	RB00010202	
3	患者・患者家族の多様性、個別性について理解し、患者固有のナラティブに基づく医療(NBM)と科学的根拠に基づく医療(EBM)を総合的に活用する重要性を説明する。	RB00010203	
4	ライフサイクル特有の健康課題について理解し、患者の人生の伴走者として患者の行動変容を継続的に支援する。	RB00010204	
	<b>【B-1-3】 薬剤師の社会的使命と法的責任</b>	RB000103	3
	<学修目標>		
1	薬剤師の社会的使命、法的責任、遵守すべき行動規範を理解し、患者・生活者の健康な生活を確保するという薬剤師の任務と責任を自覚する。	RB00010301	
2	薬剤師の任務を適正に遂行するために必要な法規範を理解し、薬剤師の業務と関連付けて説明する。	RB00010302	
3	医薬品等による健康被害の重大性や被害者本人、家族等の全人的苦痛について理解し、薬害や医療事故防止に薬剤師が果たすべき役割や責任の重要性を説明する。	RB00010303	
	<b>【B-2】 薬剤師に求められる社会性</b>	RB0002	
	<b>【B-2-1】 対人援助のためのコミュニケーション</b>	RB000201	3
	<学修目標>		
1	患者・生活者の心理、立場、環境、状態に配慮し、非言語コミュニケーションを含めて適切なコミュニケーションを図り、良好な人間関係を構築する。	RB00020101	
2	対人関係に関わる心理的要因や自己・他己理解を深め、患者・生活者や家族の多様性に配慮したコミュニケーションを図り、患者・生活者の意思決定に寄り添い、サポートする。	RB00020102	
3	患者・患者家族の精神的・身体的・社会的苦痛に配慮し、相手の心情に配慮したコミュニケーションを図る。	RB00020103	
	<b>B-2-2 多職種連携</b>	RB000202	3
	<学修目標>		
1	医療、保健、介護、福祉に関わる他の専門職の職能について理解し、多職種連携における薬剤師の役割や専門性について説明する。	RB00020201	
2	医療、保健、介護、福祉に関わる他の専門職と互いに対等な関係性を築きながら多職種連携を実現するために、相手の意見を尊重しつつ、薬剤師自身の考えや感情を適切に伝えるためのコミュニケーションを図る。	RB00020202	
3	薬剤師が多職種連携を進める上での障壁や問題点を説明し、その解決に努める。	RB00020203	
	<b>【B-3】 社会・地域における薬剤師の活動</b>	RB0003	
	<b>【B-3-1】 地域の保健・医療</b>	RB000301	5
	<学修目標>		
1	健康に影響を及ぼす環境や生活習慣について理解し、地域の衛生環境の改善、疾病予防、健康増進における薬剤師の役割について説明する。	RB00030101	
2	地域の保健・医療の課題を抽出し、地域の特性と実情に応じた課題解決の方策を提案する。	RB00030102	
3	医療を受ける者の利益を保護し、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制について理解し、薬剤師が果たすべき役割を説明する。	RB00030103	
4	地域で利用可能な社会資源を活用し、保健・医療の分野間及び多職種間(行政を含む)の連携の必要性を説明する。	RB00030104	
5	社会情勢や国際的な動向を踏まえて、薬剤師・薬局の役割・機能に常に目を向け、地域の保健・医療の質改善に向けて役割・機能を十分発揮する必要性を認識する。	RB00030105	
	<b>【B-3-2】 医療・介護・福祉の制度</b>	RB000302	2
	<学修目標>		
1	社会保障制度の考え方とその枠組みを説明する。	RB00030201	
2	社会保障制度の下で提供される医療、介護、福祉の体制と仕組み及び関係する機関・職種の役割を説明し、薬剤師に求められる役割を説明する。	RB00030202	
	<b>【B-3-3】 医療資源の有効利用</b>	RB000303	3
	<学修目標>		
1	医療保険財政が抱える課題について理解を深め、医療保険制度の維持・存続における行政、関係機関・職種、国民の役割を説明する。	RB00030301	
2	薬物治療に係る費用の成り立ち、費用に影響する要因について理解を深め、薬剤師が医療費適正化に関わる必要性を説明する。	RB00030302	
3	医療資源が有限であることを踏まえて、それらの資源を効率的に利用する方策を薬学的視点から提案する。	RB00030303	
	<b>【B-4】 医薬品等の規制</b>	RB0004	
	<b>【B-4-1】 医薬品開発を取り巻く環境</b>	RB000401	3
	<学修目標>		
1	医薬品の創製から承認、市販後までのライフサイクルを理解し、医薬品の開発過程とその体制について説明する。	RB00040101	
2	医薬品開発に係る臨床研究について、法規制、制度、仕組みを説明する。	RB00040102	
3	医薬品開発を取り巻く国内外の動向を知り、医薬品の開発が世界レベルで進められており、国際的な状況が日本の医療に直接影響することを説明する。	RB00040103	
	<b>【B-4-2】 医薬品等の品質、有効性及び安全性の確保と薬害の防止</b>	RB000402	2
	<学修目標>		
1	医薬品等の品質、有効性及び安全性を確保する重要性を理解し、法規制に係る最新の知識を持って任務を遂行する重要性を説明する。	RB00040201	
2	医薬品等により患者・生活者に健康被害を生じさせないために最大限の努力をする重要性を認識し、発生させないための行動と、発生した場合の対応を提案する。	RB00040202	
3	薬害の歴史とその社会的背景について理解を深め、薬害を発生させないための行動を認識し、責任を自覚する。	RB00040203	

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	【B-4-3】 医薬品等の供給	RB000403	2
	<学修目標>		
1	医薬品製造のプロセス、出荷から使用段階までの流通経路について理解を深め、市場に流通する医薬品を安定的に供給する重要性を認識する。	RB00040301	
2	医薬品の供給が阻害される要因、品質が確保されていない医薬品が流通する要因を把握し、課題を解消するために、行政、医薬品の製造販売業・製造業・卸売販売業、医療機関、薬局が果たすべき役割を提案する。	RB00040302	
	【B-4-4】 特別な管理を要する医薬品等	RB000404	2
	<学修目標>		
1	特別な管理を要する医薬品・薬物等が不適切に取り扱われた場合の人や社会への影響を認識する。	RB00040401	
2	特別な管理を要する医薬品・薬物等についての規制及び薬学的知見を深め、適正な取扱いと薬剤師の薬物乱用防止の重要性を認識する。	RB00040402	
	【B-5】 情報・科学技術の活用	RB0005	
	【B-5-1】 保健医療統計	RB000501	3
	<学修目標>		
1	医療における統計資料を把握し、国民の健康と医療安全を確保するための施策を講ずる上で、統計資料やデータを活用する重要性を説明する。	RB00050101	
2	保健医療に関する統計手法の基本的な考え方を理解し、データを正しく取扱い、解釈する。	RB00050102	
3	保健医療分野の統計資料・データから国内外における保健医療に関する課題を抽出し、対応策を提案する。	RB00050103	
	【B-5-2】 デジタル技術・データサイエンス	RB000502	3
	<学修目標>		
1	医療、保健、介護、福祉におけるデジタル技術の進展と活用状況を把握し、薬剤師に求められる役割発揮にデジタル技術の進展を利用する視点を持つ。	RB00050201	
2	デジタル技術の利活用に係る課題について理解を深め、デジタル技術に係る倫理・法律・制度・規範を遵守して、環境や状況に応じ適切な判断に基づいて活用する重要性を認識する。	RB00050202	
3	医療、保健、介護、福祉におけるビッグデータの活用状況を把握し、データの特徴と留意点について理解を深め、特徴と留意点を踏まえた活用方法を立案する。	RB00050203	
	【B-5-3】アウトカムの可視化	RB000503	2
	<学修目標>		
1	薬剤師が薬学的知見を活かす場が多岐にわたることを理解し、薬剤師の薬学的知見の発揮によって得られる成果(アウトカム)を可視化する重要性を認識する。	RB00050301	
2	薬剤師の職能の可視化を意識して、患者・生活者・他職種への関わり方や、社会や地域における活動を立案する。	RB00050302	

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	【C】 基礎薬学	RC	
	<大項目の学修目標>	RC00	
	基礎薬学の領域内の学修レベルには階層性(順次性)があり、最も基盤となるのが物理化学(「C-1. 化学物質の物理化学的性質」)、化学(「C-3. 薬学の中の有機化学」)及び微生物学を含む生物学・生化学(「C-6. 生命現象の基礎」)である。これらの科目の学修によって、本大項目内の分析科学(「C-2. 医薬品及び化学物質の分析法と医療現場における分析法」)、医薬品化学(「C-4. 薬学の中の医薬品化学」)、生薬学・天然物化学(「C-5. 薬学の中の生薬学・天然物化学」)、生理学・解剖学及び免疫学(「C-7. 人体の構造と機能及びその調節」)の理解が深化する。こうして、後継的に、また発展的に学ぶ、薬学のオリジナリティーでもある薬剤学・薬物動態学(「D. 医療薬学」)、衛生薬学(「E. 衛生薬学」)、薬理学及び感染症学、感染症治療学を含む病態治療学(「D. 医療薬学」)の科学的な根幹が形成される。		
	【C-1】 化学物質の物理化学的性質	RC0001	
	【C-1-1】 化学結合と化学物質・生体高分子間相互作用	RC000101	3
	<学修目標>		
1	医薬品や生体分子を形成する結合の仕組みを説明する。	RC00010101	
2	医薬品や生体分子の間で働く様々な相互作用を説明する。	RC00010102	
3	医薬品の作用発現に必須である医薬品と生体高分子との相互作用を説明する。	RC00010103	
	【C-1-2】 電磁波、放射線	RC000102	3
	<学修目標>		
1	医療現場の画像解析や診断・治療で用いられる電磁波及び放射性核種の種類と性質を説明する。	RC00010201	
2	電磁波と化学物質との相互作用を説明する。	RC00010202	
3	診断・治療、あるいは被ばく事故をもたらす電離放射線の生体への影響を説明する。	RC00010203	
	【C-1-3】 エネルギーと熱力学	RC000103	4
	<学修目標>		
1	エネルギー(熱や仕事等)のやりとりと物質の状態変化との関係を説明する。	RC00010301	
2	物質相互の溶解状態とエネルギー及び温度・圧力・濃度との関係を説明する。	RC00010302	
3	物質の酸化還元反応とエネルギーとの関係を説明する。	RC00010303	
4	膜内外の物質の濃度差に基づく医療技術の概要を説明する。	RC00010304	
	【C-1-4】 反応速度	RC000104	2
	<学修目標>		
1	医薬品の分解、酵素反応等の種々の化学反応に関わる物質の量や状態が時間とともに変化することを理解するとともに、物質の変化量を速度として捉える方法を説明する。	RC00010401	
2	酵素反応を含めた化学反応に影響する因子を説明する。	RC00010402	
	【C-2】 医薬品及び化学物質の分析法と医療現場における分析法	RC0002	
	【C-2-1】 分析方法の基礎	RC000201	1
	<学修目標>		
1	医薬品の品質管理や医療現場での検査において、分析結果の信頼性を保証するために、用いる器具、測定値の取扱い方法、方法の評価を説明する。	RC00020101	
	【C-2-2】 溶液の化学平衡と容量分析法	RC000202	4
	<学修目標>		
1	化学反応や酵素反応等に影響を与える溶液内の水素イオン濃度の測定の意義と方法を説明する。	RC00020201	
2	体液を含めた水溶液内で水素イオン濃度が一定に保たれる仕組みを説明する。	RC00020202	
3	様々な反応において、反応が起きているにも関わらず反応に関わる物質の量の変化が現れなくなる現象を説明する。	RC00020203	
4	物質の量を測定するための様々な方法の原理を理解し、操作法と応用例について説明する。	RC00020204	
	【C-2-3】 定性分析、日本薬局方試験法	RC000203	3
	<学修目標>		
1	医薬品の性状及び品質の適正化への日本薬局方の役割を説明する。	RC00020301	
2	日本薬局方の試験法の原理と特徴及び操作法を説明する。	RC00020302	
3	無機イオン分析の目的と方法を説明する。	RC00020303	
	【C-2-4】 電磁波を用いる分析法	RC000204	4
	<学修目標>		
1	医薬品や生体成分の濃度測定への電磁波の応用原理を説明する。	RC00020401	
2	電磁波を用いる様々な分析法の操作法と応用例について説明する。	RC00020402	
3	金属の分析法の原理を説明する。	RC00020403	
4	医療現場や医薬品の品質管理の現場におけるこれらの分析法の利用目的を説明する。	RC00020404	
	【C-2-5】 有機化合物の特性に基づく構造解析-原理-	RC000205	2
	<学修目標>		
1	有機化合物と電磁波との相互作用が、有機化合物の化学構造に影響されることを説明する。	RC00020501	
2	磁場や電場の中のイオンの運動が、その質量と関係することを説明する。	RC00020502	
	【C-2-6】 分離分析法	RC000206	4
	<学修目標>		
1	生体試料や医薬品の中の特定の化合物を他の物質から分離する原理や方法を説明する。	RC00020601	
2	通電によりイオンが力を受けて移動し、互いに分離される仕組みを説明する。	RC00020602	
3	分離された物質を検出し定量する方法の原理と特徴を説明する。	RC00020603	
4	医療現場や医薬品の品質管理の現場におけるこれらの分析法の利用目的を説明する。	RC00020604	
	【C-2-7】 医療現場における分析法	RC000207	4
	<学修目標>		
1	検体試料を分析前に適切に処理する必要性を説明する。	RC00020701	
2	測定値の取扱い方について説明する。	RC00020702	
3	医療現場で用いられる分析法の目的と原理、操作法の概略と特徴を説明する。	RC00020703	
4	Point of Care Testing(POCT)の意義と内容を説明する。	RC00020704	
	【C-2-8】 生体に用いる分析技術・医療機器	RC000208	3
	<学修目標>		
1	電磁波、放射線、超音波や可視光を利用して生体の画像を得る分析技術の原理と特徴を説明する。	RC00020801	
2	正常画像と疾患画像の違いを、人体の構造や機能に基づいて説明する。	RC00020802	
3	治療や診断に用いられる医薬品の役割を説明する。	RC00020803	

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	[C-3] 薬学の中の有機化学	RC0003	
	[C-3-1] 物質の基本的性質	RC000301	2
	<学修目標>		
1	有機化合物の名前と構造表記、化学構造を関連付けて説明する。	RC00030101	
2	有機化合物の基本的な性質や反応様式を化学構造に基づいて説明する。	RC00030102	
3	[C-3-2] 有機化合物の立体化学	RC000302	3
	<学修目標>		
1	化学構造に基づいて有機化合物の三次元構造を説明する。	RC00030201	
2	異性体の特徴や関係性を説明する。	RC00030202	
3	異性体では物理的性質・化学的性質・生物活性(生体分子との相互作用)が異なる可能性があることを説明する。	RC00030203	
	[C-3-3] 有機化合物の基本構造と反応性	RC000303	2
	<学修目標>		
1	有機化合物を炭素骨格や官能基ごとに体系的に分類する。	RC00030301	
2	化学構造に基づいて、物理的性質や化学的性質(反応性を含む)を説明する。	RC00030302	
	[C-3-4] 有機化合物の特性に基づく構造解析	RC000304	2
	<学修目標>		
1	有機化合物の構造解析のための機器分析法を説明する。	RC00030401	
2	分析スペクトルから有機化合物の構造を推定する。	RC00030402	
	[C-3-5] 無機化合物・錯体	RC000305	1
	<学修目標>		
1	生体内物質や医薬品として機能する無機化合物や金属錯体を説明する。	RC00030501	
	[C-4] 薬学の中の医薬品化学	RC0004	
	[C-4-1] 医薬品に含まれる官能基の特性	RC000401	1
	<学修目標>		
1	官能基の構造から物理化学的性質及び化学的性質や分子間相互作用を説明する。	RC00040101	
	[C-4-2] 生体分子とその反応	RC000402	2
	<学修目標>		
1	生体分子の化学構造からその機能を説明する。	RC00040201	
2	生命活動の維持のための生体内反応を、有機化学的・物理化学的に説明する。	RC00040202	
	[C-4-3] 医薬品のコンポーネント	RC000403	2
	<学修目標>		
1	医薬品が標的分子にどのように作用するかを説明する。	RC00040301	
2	体内動態や副作用・毒性等の特性をもたらす物理的及び化学的根拠を、医薬品の特徴的な構造から説明する。	RC00040302	
	[C-4-4] 標的分子に基づく医薬品の分類	RC000404	1
	<学修目標>		
1	化学構造に基づいて、医薬品と標的分子の相互作用を説明する。	RC00040401	
	[C-4-5] 代表的疾患の治療薬とその作用機序	RC000405	1
	<学修目標>		
1	化学構造をもとに、疾患治療薬と標的分子との相互作用を説明する。	RC00040501	
	[C-5] 薬学の中の生薬学・天然物化学	RC0005	
	[C-5-1] 生薬学・天然物化学の基礎	RC000501	1
	<学修目標>		
1	医薬品及び医薬品原料としての生薬について、代表的な生薬の基原、特徴、用途、成分及び確 認試験、品質評価法等の基本的事項を説明する。	RC00050101	
	[C-5-2] 天然由来医薬品各論	RC000502	2
	<学修目標>		
1	化学構造と生合成経路に基づいて、有用天然有機化合物を分類する。	RC00050201	
2	医薬資源となる生薬エキスや天然物由来有機化合物の用途を説明する。	RC00050202	
	[C-6] 生命現象の基礎	RC0006	
	[C-6-1] 生命の最小単位としての細胞	RC000601	1
	<学修目標>		
1	細胞を構成する成分及び細胞の成り立ちと機能を説明する。	RC00060101	
	[C-6-2] 生命情報を担う遺伝子	RC000602	1
	<学修目標>		
1	生物の発生、分化及び増殖が遺伝情報の発現と伝達によって支配されていることを説明する。	RC00060201	
	[C-6-3] 微生物の分類、構造、生活環	RC000603	4
	<学修目標>		
1	細菌は細胞構造の異なるグラム陽性菌と陰性菌に分けられることを説明する。	RC00060301	
2	細菌の分裂・増殖機構を説明する。	RC00060302	
3	細菌の急速な進化の機構を説明する。	RC00060303	
4	感染症の原因となる病原体(ウイルス、細菌、真菌)を説明する。	RC00060304	
	[C-6-4] 生命活動を担うタンパク質	RC000604	3
	<学修目標>		
1	タンパク質の機能を説明する。	RC00060401	
2	生体内化学反応を担う酵素を説明する。	RC00060402	
3	タンパク質の品質管理を説明する。	RC00060403	
	[C-6-5] 生体エネルギーと代謝	RC000605	2
	<学修目標>		
1	生体内化学反応(代謝反応)を説明する。	RC00060501	
2	生体内化学反応によるエネルギー代謝を説明する。	RC00060502	

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	C-6-6 細胞内情報伝達及び細胞間コミュニケーション ＜学修目標＞	RC000606	2
1	細胞内情報伝達の機構を説明する。	RC00060601	
2	細胞間及び組織間情報伝達の機構を説明する。 【C-6-7】 細胞周期と細胞死	RC00060602	
	＜学修目標＞	RC000607	1
1	生体の組織や器官を形成する細胞の生と死を説明する。	RC00060701	
	【C-7】 人体の構造と機能及びその調節	RC0007	
	【C-7-1】 器官系概論	RC000701	2
	＜学修目標＞		
1	人体の構成を説明する。	RC00070101	
2	人体の構成要素が、相互に連携しながら機能していることを説明する。	RC00070102	
	【C-7-2】 神経系	RC000702	2
	＜学修目標＞		
1	神経系を構成する細胞や器官の正常な構造と機能を説明する。	RC00070201	
2	神経系による調節の特徴を説明する。	RC00070202	
	【C-7-3】 内分泌系	RC000703	2
	＜学修目標＞		
1	内分泌器官(ホルモン産生器官)の構造と産生されるホルモン及びその作用について説明する。	RC00070301	
2	内分泌系による調節の特徴を説明する。	RC00070302	
	【C-7-4】 外皮系	RC000704	1
	＜学修目標＞		
1	皮膚の構造と機能を説明する。	RC00070401	
	【C-7-5】 感覚器系	RC000705	2
	＜学修目標＞		
1	感覚器系を構成する器官の構造と機能を説明する。	RC00070501	
2	受容される特殊感覚の種類と、その感覚が知覚される大脳皮質領域及び、その主要な伝導路を説明する。	RC00070502	
	【C-7-6】 骨格系	RC000706	1
	＜学修目標＞		
1	骨格系の構造と機能を説明する。	RC00070601	
	【C-7-7】 筋系	RC000707	1
	＜学修目標＞		
1	筋系の構造と機能を説明する。	RC00070701	
	【C-7-8】 循環器系	RC000708	3
	＜学修目標＞		
1	循環器系を構成する器官の構造と機能を説明する。	RC00070801	
2	体液循環について説明する。	RC00070802	
3	血液の組成と各成分の機能について説明する。	RC00070803	
	【C-7-9】 リンパ系と免疫	RC000709	2
	＜学修目標＞		
1	リンパ系を構成する器官の構造と機能を説明する。	RC00070901	
2	免疫担当細胞による免疫応答について説明する。	RC00070902	
	【C-7-10】 消化器系	RC000710	1
	＜学修目標＞		
1	消化器系器官の構造と機能を説明する。	RC00071001	
	【C-7-11】 呼吸器系	RC000711	2
	＜学修目標＞		
1	呼吸器系器官の構造と機能を説明する。	RC00071101	
2	呼吸器系による体液の恒常性維持への関与を説明する。	RC00071102	
	【C-7-12】 泌尿器系	RC000712	2
	＜学修目標＞		
1	泌尿器系器官の構造と機能を説明する。	RC00071201	
2	泌尿器系による体液の恒常性維持への関与を説明する。	RC00071202	
	【C-7-13】 体液	RC000713	1
	＜学修目標＞		
1	体液組成とその恒常性維持機構を説明する。	RC00071301	
	【C-7-14】 生殖器系	RC000714	1
	＜学修目標＞		
1	生殖器系器官の構造と機能を説明する。	RC00071401	
	【C-7-15】 ヒトの発生	RC000715	2
	＜学修目標＞		
1	器官の形成・成長の過程を説明する。	RC00071501	
2	ヒトの発生に関与する器官の構造及び関連するホルモンについて説明する。	RC00071502	

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	<b>[D] 医療薬学</b>	RD	
	<大項目の学修目標>		
	大項目Dは、薬学教育モデル・コア・カリキュラムにおける「A 薬剤師として求められる基本的な資質・能力」を生産にわたって醸成するために、「B 社会と薬学」で学ぶ薬剤師の責務を常に念頭に置き、「C 基礎薬学」で学んだ医薬品の構造と性質、生体の機能と恒常性などの学修成果を、「E 衛生薬学」の疾病予防、公衆衛生、及び「F 臨床薬学」における個々の患者への責任ある薬物治療の実践に結びつけることを目的とした大項目である。「F 臨床薬学」では、薬物治療を個別最適化するために、患者ごとに異なる状況へ十分に配慮した上で薬物治療を選択、実施、評価する必要がある。そのため、本大項目は責任ある薬物治療の実践するための基本となる疾患の病態生理と薬物の作用のメカニズムを関連付けた系統的な理解、ガイドラインによる標準化された治療方針、根拠に基づく医療を提供するために、医薬品情報をもとに薬物の有効性・安全性の適切な評価、薬物動態の理論を理解した上で、適切な用法・用量・剤形の選択と処方箋調剤の基本を一般論として修得し、「F 臨床薬学」で患者個々の薬物療法を実践するために使える学力を身に付ける。また、「E 衛生薬学」で求められる薬剤師のもう一つの重要な使命である地域における予防、衛生を実施する際の基本となる事項を学修する。		
	<b>[D-1] 薬物の作用と生体の変化</b>	RD0001	
	<b>[D-1-1] 薬の作用のメカニズム</b>	RD000101	3
	<学修目標>		
1	神経系の構造と機能を生体の恒常性と関連付けて説明する。	RD00010101	
2	医薬品の化学構造の特徴と、標的となる身体の仕組みや分子との関連をもとに、薬の作用メカニズムや作用様式を説明する。	RD00010102	
3	動物実験の実施(代替法を含む)に際してその必要性を理解し、倫理的配慮を行う。	RD00010103	
	<b>[D-1-2] 身体の病的変化</b>	RD000102	2
	<学修目標>		
1	症状の発症メカニズムを、身体の正常反応と病的変化に関連付ける。	RD00010201	
3	臨床検査の異常値の発現メカニズムを、身体の正常反応と病的変化に結び付け、臨床的意義を説明するとともに、臨床検査値の測定メカニズムと関連させる。	RD00010202	
	<b>[D-1-3] 医薬品の安全性</b>	RD000103	4
	<学修目標>		
1	薬物の作用メカニズムに基づき、起こりうる有害反応(副作用)、相互作用、薬物中毒を症状や臨床検査値の異常と関連付けて説明する。	RD00010301	
2	薬害の発生原因を、多角的に分析し、防止策を説明する。	RD00010302	
3	薬物の適正使用の概念を理解し、薬物中毒、薬物乱用の原因を作用メカニズムの観点から多角的に分析し、予防策を立案する。	RD00010303	
4	ポリファーマシーが生じる原因を、薬学的管理の観点から多角的に分析し、改善策、予防策を立案する。	RD00010304	
	<b>[D-2] 薬物治療につながる薬理・病態</b>	RD0002	
	<b>[D-2-1] 自律神経系に作用する薬</b>	RD000201	4
	<学修目標>		
1	自律神経系の異常による病態の発症メカニズムを、生体の恒常性と関連付けて説明する。	RD00020101	
2	自律神経系に作用する薬の作用メカニズムと病態を関連付けて説明する。	RD00020102	
3	治療薬の作用メカニズムと有害反応(副作用)を関連付けて説明する。	RD00020103	
4	同種・同効薬の類似点と相違点を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00020104	
	<b>[D-2-2] 鎮痛作用を有する薬物</b>	RD000202	4
	<学修目標>		
1	痛みの発生メカニズムを、生体の恒常性と関連付けて説明する。	RD00020201	
2	鎮痛薬の作用メカニズムと病態を関連付けて説明する。	RD00020202	
3	鎮痛薬の作用メカニズムと有害反応(副作用)を関連付けて説明する。	RD00020203	
4	痛みの緩和における薬物治療の一般的な位置づけ及び同種・同効薬の類似点と相違点を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00020204	
	<b>[D-2-3] 麻酔薬</b>	RD000203	3
	<学修目標>		
1	麻酔薬の作用メカニズムを、生理反応と関連付けて説明する。	RD00020301	
2	麻酔薬の作用メカニズムと有害反応(副作用)を関連付けて説明する。	RD00020302	
3	同種・同効薬の類似点と相違点を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00020303	
	<b>[D-2-4] 運動神経系や骨格筋に作用する薬</b>	RD000204	4
	<学修目標>		
1	神経筋疾患の発症メカニズムを生体の恒常性と関連付けた上で、異常反応としての病態を説明する。	RD00020401	
2	治療薬の作用メカニズムと病態を関連付けて説明する。	RD00020402	
3	治療薬の作用メカニズムと有害反応(副作用)を関連付けて説明する。	RD00020403	
4	疾患治療における薬物治療の一般的な位置づけ及び同種・同効薬の類似点と相違点を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00020404	
	<b>[D-2-5] 中枢神経系、精神系の疾患と治療薬</b>	RD000205	4
	<学修目標>		
1	中枢神経系、精神系疾患の発症メカニズムを生体の恒常性と関連付けた上で、異常反応としての病態を説明する。	RD00020501	
2	治療薬の作用メカニズムと病態を関連付けて説明する。	RD00020502	
3	治療薬の作用メカニズムと有害反応(副作用)を関連付けて説明する。	RD00020503	
4	疾患治療における薬物治療の一般的な位置づけ及び同種・同効薬の類似点と相違点を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00020504	
	<b>[D-2-6] 代謝系・内分泌系及び骨の疾患と治療薬</b>	RD000206	4
	<学修目標>		
1	代謝・内分泌系及び骨疾患、電解質異常の発症メカニズムを生体の恒常性と関連付けた上で、異常反応としての病態を説明する。	RD00020601	
2	治療薬の作用メカニズムと病態を関連付けて説明する。	RD00020602	
3	治療薬の作用メカニズムと有害反応(副作用)を関連付けて説明する。	RD00020603	
4	疾患治療における薬物治療の一般的な位置づけ及び同種・同効薬の類似点と相違点を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00020604	
	<b>[D-2-7] 皮膚・感覚器系の疾患と治療薬</b>	RD000207	4
	<学修目標>		
1	皮膚・感覚器疾患の発症メカニズムを生体の恒常性と関連付けた上で、異常反応としての病態を説明する。	RD00020701	
2	治療薬の作用メカニズムと病態を関連付けて説明する。	RD00020702	
3	治療薬の作用メカニズムと有害反応(副作用)を関連付けて説明する。	RD00020703	
4	疾患治療における薬物治療の一般的な位置づけ及び同種・同効薬の類似点と相違点を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00020704	

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	[D-2-8] 循環器系の疾患と治療薬		
	<学修目標>	RD000208	4
1	循環器系疾患の発症メカニズムを生体の恒常性と関連付けた上で、異常反応としての病態を説明する。	RD00020801	
2	治療薬の作用メカニズムと病態を関連付けて説明する。	RD00020802	
3	治療薬の作用メカニズムと有害反応(副作用)を関連付けて説明する。	RD00020803	
4	疾患治療における薬物治療の一般的な位置づけ及び同種・同効薬の類似点と相違点を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00020804	
	[D-2-9] 血液・造血器系の疾患と治療薬		
	<学修目標>	RD000209	4
1	血液・造血器系疾患の発症メカニズムを生体の恒常性と関連付けた上で、異常反応としての病態を説明する。	RD00020901	
2	治療薬の作用メカニズムと病態を関連付けて説明する。	RD00020902	
3	治療薬の作用メカニズムと有害反応(副作用)を関連付けて説明する。	RD00020903	
4	疾患治療における薬物治療の一般的な位置づけ及び同種・同効薬の類似点と相違点を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00020904	
	[D-2-10] 免疫・炎症・アレルギー系の疾患と治療薬		
	<学修目標>	RD000210	4
1	免疫・炎症・アレルギー系疾患の発症メカニズムを生体の恒常性と関連付けた上で、異常反応としての病態を説明する。	RD00021001	
2	治療薬の作用メカニズムと病態を関連付けて説明する。	RD00021002	
3	治療薬の作用メカニズムと有害反応(副作用)を関連付けて説明する。	RD00021003	
4	疾患治療における薬物治療の一般的な位置づけ及び同種・同効薬の類似点と相違点を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00021004	
	[D-2-11] 消化器系の疾患と治療薬		
	<学修目標>	RD000211	4
1	消化器系疾患の発症メカニズムを生体の恒常性と関連付けた上で、異常反応としての病態を説明する。	RD00021101	
2	治療薬の作用メカニズムと病態を関連付けて説明する。	RD00021102	
3	治療薬の作用メカニズムと有害反応(副作用)を関連付けて説明する。	RD00021103	
4	疾患治療における薬物治療の一般的な位置づけ及び同種・同効薬の類似点と相違点を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00021104	
	[D-2-12] 呼吸器系の疾患と治療薬		
	<学修目標>	RD000212	4
1	呼吸器系疾患の発症メカニズムを生体の恒常性と関連付けた上で、異常反応としての病態を説明する。	RD00021201	
2	治療薬の作用メカニズムと病態を関連付けて説明する。	RD00021202	
3	治療薬の作用メカニズムと有害反応(副作用)を関連付けて説明する。	RD00021203	
4	疾患治療における薬物治療の一般的な位置づけ及び同種・同効薬の類似点と相違点を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00021204	
	[D-2-13] 泌尿器系の疾患と治療薬		
	<学修目標>	RD000213	4
1	泌尿器系疾患の発症メカニズムを生体の恒常性と関連付けた上で、異常反応としての病態を説明する。	RD00021301	
2	治療薬の作用メカニズムと病態を関連付けて説明する。	RD00021302	
3	治療薬の作用メカニズムと有害反応(副作用)を関連付けて説明する。	RD00021303	
4	疾患治療における薬物治療の一般的な位置づけ及び同種・同効薬の類似点と相違点を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00021304	
	[D-2-14] 生殖器系の疾患と治療薬		
	<学修目標>	RD000214	6
1	生殖器系疾患の発症メカニズムを生体の恒常性と関連付けた上で、異常反応としての病態を説明する。	RD00021401	
2	治療薬の作用メカニズムと病態を関連付けて説明する。	RD00021402	
3	治療薬の作用メカニズムと有害反応(副作用)を関連付けて説明する。	RD00021403	
4	疾患治療における薬物治療の一般的な位置づけ及び同種・同効薬の類似点と相違点を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00021404	
5	正常な妊娠・分娩のメカニズムを説明し、妊娠及び分娩異常の病態と関連付ける。	RD00021405	
6	避妊に用いられる医薬品の作用メカニズムと有害反応(副作用)との関連を説明するとともに、使用における位置づけと根拠を説明する。	RD00021406	
	[D-2-15] 感染症と治療薬		
	<学修目標>	RD000215	5
1	感染症の原因となる病原体、感染経路や発症メカニズムを生体の恒常性と関連付けた上で、異常反応としての病態を説明する。	RD00021501	
2	治療薬の作用メカニズムと病態を関連付けて説明する。	RD00021502	
3	治療薬の作用メカニズムと耐性獲得メカニズム及び耐性菌の抑制を関連付けて説明する。	RD00021503	
4	治療薬の作用メカニズムと有害反応(副作用)を関連付けて説明する。	RD00021504	
5	疾患治療における薬物治療の一般的な位置づけ及び同種・同効薬の類似点と相違点を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00021505	
6	<学修目標>	RD000216	5
1	悪性腫瘍(がん)の発症メカニズムを生体の恒常性と関連付けた上で、異常反応としての病態を説明する。	RD00021601	
2	治療薬の作用メカニズムと病態を関連付けて説明する。	RD00021602	
3	治療薬の作用メカニズムと耐性獲得メカニズム及び耐性出現への対応を関連付けて説明する。	RD00021603	
4	治療薬の作用メカニズムと有害反応(副作用)を関連付けて説明する。	RD00021604	
5	疾患治療における薬物治療の一般的な位置づけ及び同種・同効薬の類似点と相違点を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00021605	
	[D-2-17] 緩和医療と治療薬		
	<学修目標>	RD000217	5
1	がんに伴う疼痛や終末期症状のメカニズムを生体の恒常性と関連付けた上で、異常反応としての病態を説明する。	RD00021701	
2	慢性疼痛(非がん性)、神経因性疼痛の発症メカニズムを生体の恒常性と関連付けて説明し、異常反応としての病態と関連付ける。	RD00021702	
3	治療薬の作用メカニズムと病態を関連付けて説明する。	RD00021703	
4	治療薬の作用メカニズムと有害反応(副作用)及びその対処法を関連付けて説明する。	RD00021704	
5	疾患治療における薬物治療の一般的な位置づけ及び同種・同効薬の類似点と相違点を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00021705	
	[D-2-18] 遺伝子治療、移植医療、遺伝子組換え医薬品		
	<学修目標>	RD000218	3
1	遺伝子治療や移植医療のメカニズム、方法、その手順を把握し、疾患へ適用する根拠を説明する。	RD00021801	
2	遺伝子治療、移植医療において配慮すべき倫理、規範を説明する。	RD00021802	
3	遺伝子組換え医薬品の特徴やその作用メカニズムを説明し、その有害反応(副作用)との関連を説明する。	RD00021803	
	[D-2-19] 漢方療法		
	<学修目標>	RD000219	2
1	漢方医学の考え方、漢方医学における疾患の概念、西洋医学と漢方医学の考え方の違いを説明する。	RD00021901	
2	代表的な漢方薬の適応と有害反応(副作用)、使用上の注意事項などを理解し、漢方療法を症状や疾患に適用する根拠を説明する。	RD00021902	

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	[D-2-0] セルフケア、セルフメディケーション		
	<学修目標>	RD000220	3
1	代表的な症状と見逃してはいけない状況を適切に判断し、症状や病態に合わせて医療機関への受診勧奨、セルフケア、セルフメディケーションのいずれかに振り分けるための根拠を説明する。	RD00022001	
2	要指導医薬品や一般用医薬品を提案する際に、それらを適切に選択するために必要な基本的事項を把握し、患者の生活状況を配慮することの重要性を説明する。	RD00022002	
3	要指導医薬品や一般用医薬品と医療用医薬品、食品等との間の相互作用を説明する。	RD00022003	
	[D-3] 医療における意思決定に必要な医薬品情報	RD0003	
	[D-3-1] 医薬品のライフサイクルと医薬品情報	RD000301	1
	<学修目標>		
1	医薬品の開発から臨床使用までの医薬品のライフサイクルにおいて、発生する情報の種類を挙げ、その背景と特徴を種々の規制・制度と関連付けて説明する。	RD00030101	
	[D-3-2] 医薬品情報の情報源と収集	RD000302	8
	<学修目標>		
1	医薬品情報の情報源を挙げ、その特徴、位置づけ、情報源の評価について説明する。	RD00030201	
2	添付文書(医療用医薬品、一般用医薬品、要指導医薬品)の法的位置づけを理解し、記載項目の意味を説明し、記載内容を適切に解釈する。	RD00030202	
3	医薬品インタビューフォームの位置づけを理解した上で適切に使用する。	RD00030203	
4	ガイドラインの作成方法や適応範囲を確認した上で、適切に使用する。	RD00030204	
5	厚生労働省、医薬品医療機器総合機構、製薬企業などが発行する資料とその特徴、位置づけについて説明する。	RD00030205	
6	医療に関わるインターネット上の情報について、その作成機関や背景を確認した上で、適切に使用する。	RD00030206	
7	医学・薬学文献データベースについて、そのデータベースの特徴を理解し、検索におけるシソーラスの役割を理解して適切に検索する。	RD00030207	
8	調査目的(効能・効果、有効性、安全性(副作用)、相互作用、妊婦への投与、中毒等)に適した情報源を選択し、適切な検索の手法を用いて必要な情報を収集する。	RD00030208	
	[D-3-3] 医薬品情報の解析と評価	RD000303	7
	<学修目標>		
1	調査目的に対して収集した情報をその情報のエビデンスの質や、信頼性、妥当性に配慮しながら解析・評価する。	RD00030301	
2	研究デザインの種類とエビデンスの質を関連付けて説明する。	RD00030302	
3	根拠に基づいた医療(eBM)の概念を説明し、プロセスを実践する。	RD00030303	
4	臨床研究論文を研究デザインに合わせて批判的に吟味し、結果を適切に解釈する。	RD00030304	
5	医薬品の有効性を収集した情報を用いて適切に解析・評価する。	RD00030305	
6	医薬品の安全性を収集した情報を用いて適切に解析・評価する。	RD00030306	
7	特別用途食品、保健機能食品、いわゆる健康食品等の有効性と安全性について、適切に評価する。	RD00030307	
	[D-3-4] 医薬品情報の応用と創生	RD000304	3
	<学修目標>		
1	収集・評価した医薬品情報を、その情報を使う対象を考慮して、活用する。	RD00030401	
2	収集した資料やエビデンスを適切に評価し、比較する。	RD00030402	
3	不足している情報の創生や課題の解決を目的に、適切な情報リソースや研究デザインを検討し、研究計画の概要を立案する。	RD00030403	
	[D-3-5] 患者情報	RD000305	5
	<学修目標>		
1	患者基本情報とその情報源及び媒体を説明する。	RD00030501	
2	問題志向型システム(POS)の意義を理解し、SOAP形式等を用い、患者情報より問題点を抽出、評価、計画の記録をする。	RD00030502	
3	薬物治療を個別最適化するために必要な患者情報を抽出し、考慮すべき事項を説明する。	RD00030503	
4	守秘義務と個人情報保護に配慮した患者情報管理の重要性を説明する。	RD00030504	
5	医療における患者情報のデジタル化や、その取扱いについて説明する。	RD00030505	
	[D-4] 薬の生体内運命	RD0004	
	[D-4-1] 薬物の体内動態	RD000401	3
	<学修目標>		
1	薬物の物理化学的性質と生体の構造及び機能から、生体内の薬物動態を説明する。	RD00040101	
2	薬物体内動態に起因する薬物相互作用の事例をメカニズムに基づいて説明し、その回避方法を提案する。	RD00040102	
3	生理機能の変化が薬物体内動態に及ぼす影響を説明するとともに、その背景に応じた適切な投与経路・投与方法を説明する。	RD00040103	
	[D-4-2] 薬物動態の解析	RD000402	4
	<学修目標>		
1	薬物速度論的解析法に基づいて、体内薬物量(濃度)の時間的推移を、薬物動態パラメータを用いて説明する。	RD00040201	
2	薬物動態パラメータを利用して、患者の生理状態を考慮した、適切な薬物投与計画を立案する。	RD00040202	
3	治療薬物モニタリング(TDM)において、患者で実際に観察された血中薬物濃度に基づいて、個々の患者に最適な薬物治療を実践するための投与方法・投与量・投与間隔を設定する。	RD00040203	
4	薬物動態学/薬力学解析(PK/PD解析)の概念と応用について説明する。	RD00040204	
	[D-5] 製剤化のサイエンス	RD0005	
	[D-5-1] 薬物と製剤の性質	RD000501	2
	<学修目標>		
1	固形製剤、半固形製剤、液状製剤など、様々な製剤を作成するために必要な製剤材料の種類と物性と関連する基本的理論について説明する。	RD00050101	
2	製剤の調製に際して、薬物及び医薬品の安定性等を確保するための適切な方策について説明する。	RD00050102	
	[D-5-2] 製剤設計	RD000502	2
	<学修目標>		
1	製剤の種類と特性、及び製剤の投与(適用)方法、保存方法等を理解するとともに、適切な調剤方法や、患者に説明すべき事項を説明する。	RD00050201	
2	製剤化で利用する医薬品添加物や、製剤機械及び製造工程、また製剤の品質確保のための容器、包装、製剤試験法、生物学的同等性について説明する。	RD00050202	
	[D-5-3] Drug Delivery System(DDS:薬物送達システム)	RD000503	2
	<学修目標>		
1	DDSの概念と技術、更に薬物の物性や薬物動態学的特徴に基づいた最適なDDSの利用について説明する。	RD00050301	
2	DDS製剤とその適用疾患を理解することで、患者の薬物治療に有効なDDSを提案する。	RD00050302	
	[D-6] 個別最適化の基本となる調剤	RD0006	
	[D-6-1] 処方箋に基づいた調剤	RD000601	3
	<学修目標>		
1	適正な処方箋の記載事項・内容を説明する。	RD00060101	
2	患者背景に基づいて、処方された医薬品(処方薬)の投与量、投与方法、投与剤形の妥当性を評価し、疑義照会の必要性を説明する。	RD00060102	
3	調剤の流れに従って、患者背景ならびに処方された散剤、水剤、注射剤など医薬品の製剤学的特性に応じた基本的な調剤、調剤監査を行い、服薬指導すべき内容を説明する。	RD00060103	
	[E] 衛生薬学	RE	
	<大項目の学修目標>		
	[E 衛生薬学]においては、薬学教育プログラムにおける「B 社会と薬学」、「C 基礎薬学」、「D 医療薬学」の学修をもとに、科学的根拠と最新の解析技術に基づいて、社会・集団における環境要因によって起こる疾病の予防や健康被害の防止、感染症の予防・まん延防止、健康の維持・増進に必要な栄養・食品衛生、人の健康に影響を与える化学物質の適正な管理と使用、環境保全等について学修する。本大項目の学修は、「F 臨床薬学」における薬物治療、医療安全等の学修につながる。さらに、「E 衛生薬学」の学修を通じ、国民の		

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	健康な生活の確保、健全な社会の維持・発展に貢献するために、レギュラトリーサイエンスの視点で人の健康に係る公衆衛生、食品衛生、環境衛生上の課題を発見し、その解決に取り組む能力を身に付ける。		
	【E-1】 健康の維持・増進をはかる公衆衛生	RE0001	
	【E-1-1】 環境要因によって起こる疾病の予防と健康被害の防止	RE000101	4
	<学修目標>		
1	人の健康の維持・増進のために、公衆衛生上の課題の疫学的解析の手法と、これに基づいて解決策を見出すプロセスについて説明する。	RE00010101	
2	社会や集団において環境要因によって起こる様々な疾病や健康被害について、関連する情報の収集・解析と評価に基づいて適切に予防・防止することの必要性を説明する。	RE00010102	
3	環境要因によって起こる疾病や健康被害について、社会的な影響や国際的な動向の解析と関連する規制・制度や関連法規の理解のもとに、実効性のある予防策や防止策を立案する。	RE00010103	
4	環境要因によって起こる疾病や健康被害に対する予防策や防止策の効果を検証・評価する。	RE00010104	
	【E-1-2】 人の健康を脅かす感染症の予防とまん延防止	RE000102	3
	<学修目標>		
1	人の健康の維持・増進のために、人の健康を脅かす感染症について、関連する情報の収集・解析と評価に基づいて適切に予防・まん延防止することの必要性を説明する。	RE00010201	
2	発生した感染症について、感染状況や保健・医療体制の把握、社会的な影響や国際的な動向の解析と関連する規制・制度や関連法規の理解のもとに、実効性のある予防策やまん延防止策を立案する。	RE00010202	
3	感染症に対する予防策やまん延防止策の効果を検証・評価する。	RE00010203	
	【E-2】 健康の維持・増進につながる栄養と食品衛生	RE0002	3
	【E-2-1】 食品機能と疾病の予防・治療における栄養	RE000201	
	<学修目標>		
1	食品や栄養について、適切な摂取により人の健康の維持・増進をはかることの必要性を説明する。	RE00020101	
2	食品や栄養について、疾病の予防・治療に向けて評価・管理を適切に行うことの必要性を説明する。	RE00020102	
3	栄養素の過不足による疾病や健康障害について、食習慣や生活環境等の把握、健康状態の解析と、関連するエネルギー代謝や摂取基準等の理解のもとに、効果的な方策を立案する。	RE00020103	
	【E-2-2】 健康をまもる食品衛生	RE000202	3
	<学修目標>		
1	人の健康の維持・増進のために、食品や食品添加物等について、関連する情報の収集・解析と評価に基づいて適切に衛生管理及び安全性管理を実施することの必要性を説明する。	RE00020201	
2	食品の劣化や食品汚染によって起こる健康被害や食中毒について、被害状況把握、社会的な影響の解析と関連する規制・制度や関連法規の理解のもとに、実効性のある防止策を立案する。	RE00020202	
3	食品の劣化、食品汚染による健康被害や食中毒に対する防止策の効果を検証・評価する。	RE00020203	
	【E-3】 化学物質の管理と環境衛生	RE0003	
	【E-3-1】 人の健康に影響を及ぼす化学物質の管理と使用	RE000301	4
	<学修目標>		
1	人の健康の維持・増進のために、健康に影響を及ぼす化学物質について、関連する情報の収集・解析と評価に基づいて適正な管理・使用の必要性、保管・廃棄の方法を説明する。	RE00030101	
2	化学物質による健康被害について、被害状況の把握、社会的な影響や国際的な動向の解析と関連する規制・制度や関連法規の理解のもとに、実効性のある防止策を立案する。	RE00030102	
3	死因究明に関する社会的な影響、国際的な動向の解析、関連する規制・制度、及び関連法規の理解のもとに、実効性のある薬学的アプローチを立案する。	RE00030103	
4	化学物質による健康被害に対する防止策の効果を検証・評価する。	RE00030104	
	【E-3-2】 生活環境・自然環境の保全	RE000302	3
	<学修目標>		
1	人の健康の維持・増進や生態系の維持のために、健康に影響を与える生活環境や自然環境について、関連する情報の収集・解析と評価に基づいて適正に保全することの必要性を説明する。	RE00030201	
2	環境汚染や生活環境の悪化による健康被害について、被害状況の把握、社会的な影響や国際的な動向の解析と関連する規制・制度や関連法規の理解のもとに、実効性のある防止策・対応策を立案する。	RE00030202	
3	環境汚染や環境の悪化による健康被害に対する防止策や対応策の効果を検証・評価する。	RE00030203	

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	<b>【F】 臨床薬学</b>		
	<大項目の学修目標>	RF	
	「D 基礎薬学」で学ぶ化学物質や生体の基礎知識を基に、「D 医療薬学」で学ぶ疾患や医薬品の知識を総合的に活用して、適切な薬物治療の計画を立案し、患者・生活者中心の視点から 個別最適な薬物治療を提供する。「B 社会と薬学」で学ぶ法令や規範、倫理等を遵守し、患者、生活者の立場を尊重したコミュニケーションにより、多職種との連携を円滑に行い、質の高い薬学的管理によるファーマシューティカルケアを実践する。また、「B 社会と薬学」で学ぶ健康管理や「E 衛生薬学」で学ぶ公衆衛生、感染制御、環境保全等の知識を、医療現場や地域で活用して、医療、保健、介護、福祉の向上に貢献する能力を身に付ける。		
	<b>【F-1】 薬物治療の実践</b>	RF0001	
	<b>【F-1-1】 薬物治療の個別最適化</b>	RF000101	11
	<学修目標>		
1	医薬品適正使用の概念を説明する。	RF00010101	
2	患者情報を適切に収集し、評価することにより、患者の状態を正確に把握する。	RF00010102	
3	薬物治療の評価等に必要情報について、最も適切な情報源を効果的に利用し、情報を収集する。また、得られた情報及び情報源を批判的に評価し、効果的に活用する。	RF00010103	
4	薬物治療の問題点の抽出を行い、その評価に基づき、問題解決策を検討し、薬物治療を個別最適化するための計画を立案する。	RF00010104	
5	様々なモニタリング項目から患者状態を的確に把握し、薬物治療の有効性と安全性を確認・評価して適切に記録する。	RF00010105	
6	医薬品の適正使用の観点から、処方監査・解析を行い、疑義照会・処方提案を實踐し、調剤、服薬指導、患者教育等を行う。	RF00010106	
7	個々の患者背景を踏まえ患者の最善のアウトカムを考慮し、科学的根拠に基づく薬物治療の計画を立案する。	RF00010107	
8	薬物治療開始時からその必要性と安全性を評価し、医薬品の不適正使用等によるリスクを回避するとともに、薬物治療開始後の患者の状態を継続的に把握し、適切に評価し、医薬品の有効性と安全性を確保する。	RF00010108	
9	疾患の病期(急性期、回復期、慢性期、終末期)や患者や家族の希望、年齢(小児から高齢者まで)、生理学的変動、療養の環境や生活状況を踏まえ、その状況に適した薬物治療を計画立案し、関係者間の情報共有により、シームレスな薬物治療を實踐する。	RF00010109	
10	複数の疾患、複数の医薬品が複雑に関連して治療を受けている患者の薬物治療について、その安全性、有効性を評価し、生活の質(QOL)の維持・改善、副作用の予防・早期発見等を實踐する。	RF00010110	
11	多職種の専門性や思考、意識等の違いを理解し、連携する多職種とどのように関われば最も患者・生活者にとって有益かを模索する。多職種からの評価を受け入れ、連携による患者・生活者のより効果的な薬物治療と継続的な薬学的管理を實現する。	RF00010111	
	<b>【F-2】 多職種連携における薬剤師の貢献</b>	RF0002	
	<b>【F-2-1】 多職種連携への参画・薬剤師の職能発揮</b>	RF000201	8
	<学修目標>		
1	多様な医療チームにおける薬剤師及び多職種の役割を説明し、薬剤師に求められる役割と責任を自覚する。	RF00020101	
2	地域に応じた施設間連携等の医療制度、保健福祉制度等を説明する。	RF00020102	
3	機能が異なる病院間、病院と薬局間、薬局と薬局との間等の施設間の連携、地域包括ケアシステムにおける医療、保健、介護、福祉に関する連携に参画して、入院時等における療養環境の変化にシームレスな患者支援を實踐する。	RF00020103	
4	連携する多職種とともに、患者・生活者にとって何が重要な課題かを明確にし、チームの活動方針を共有し課題解決を図るとともに、薬学的観点からチームの活動に有益な情報を提供する。	RF00020104	
5	患者や家族の議論や意思決定に積極的に参加できるように多職種・患者や家族に働きかける。	RF00020105	
6	各専門職の機能が異なることに配慮し、双方向に互いの役割、知識、意見、価値観を共有する。また、相互理解を深め、対立や葛藤を回避せず、お互いの考えを確認しながら連携する職種間の合意を形成し、患者・生活者の問題解決を図る。	RF00020106	
7	積極的なコミュニケーションを図り、連携する多職種と信頼関係を構築し、その維持、向上に努める。	RF00020107	
8	連携する多職種との関わりを通して、薬剤師としての専門性や思考、意識、感情、価値観などを振り返り、その経験をより深く理解して連携に活かすとともに、薬剤師としての専門性向上に努める。	RF00020108	
	<b>【F-3】 医療マネジメント・医療安全の実践</b>	RF0003	
	<b>【F-3-1】 医薬品の供給と管理</b>	RF000301	2
	<学修目標>		
1	流通状況を踏まえ、医薬品の供給及び管理を適切に実施する。	RF00030101	
2	市販されている医薬品では対応できない場合の医薬品の調製、使用、品質管理等について説明する。	RF00030102	
	<b>【F-3-2】 医薬品情報の管理と活用</b>	RF000302	5
	<学修目標>		
1	医療環境に応じて医薬品の情報源や情報媒体を把握し、利用して網羅的かつ最新の医薬品情報を収集し、医療機関や患者集団への情報の適合性や必要性を考慮する。また、根拠に基づいた適切な評価及び目的に応じた加工を行い、医薬品情報の提供、発信(伝達)を行う。	RF00030201	
2	医療における安全性情報の収集に努めるとともに、安全性情報や回収情報等に対して迅速に対応する。	RF00030202	
3	報告されている種々の医薬品に関する情報を整理、統合して、臨床で有益な知見を新たに構築して提供する。	RF00030203	
4	適切な医薬品情報及び有害事象情報等に基づき、医療環境に応じた医薬品適正使用の推進と安全対策を立案する。	RF00030204	
5	医療環境に応じた医薬品使用基準について理解し、有効かつ安全で経済的な医薬品の採用、使用等について説明する。	RF00030205	
	<b>【F-3-3】 医療安全の実践</b>	RF000303	3
	<学修目標>		
1	自らのヒヤリハット事例などを振り返り、医療現場の安全の向上に努める。	RF00030301	
2	医療に関するリスクマネジメントにおける薬剤師の責任と義務を把握し、医療現場での患者安全の原則と概念、安全を確保する体制や具体的な方策を説明する。	RF00030302	
3	医療過誤やインシデント・アクシデント事例を収集し、要因を解析した上で、発生時や対応時における法的措置(刑事責任・民事責任)を理解し、医療環境に合わせた適切な対応と予防策を検討する。	RF00030303	
	<b>【F-3-4】 医療現場での感染制御</b>	RF000304	4
	<学修目標>		
1	感染症を発生させない環境整備等に努め、感染源や媒介者にならない等、感染予防や健康管理に留意して行動する。	RF00030401	
2	標準予防策を理解、実践し、感染経路別の予防策を實施する。	RF00030402	
3	感染症が発生したときの対応を理解し、感染拡大しないよう感染制御に努める。	RF00030403	
4	新興・再興感染症に対して、最新の知見や行政の対応に基づき、医療提供体制の役割等を把握した上で、感染制御を理解する。	RF00030404	
	<b>【F-4】 地域医療・公衆衛生への貢献</b>	RF0004	
	<b>【F-4-1】 地域住民の疾病予防・健康維持・増進の推進、介護・福祉への貢献</b>	RF000401	3
	<学修目標>		
1	地域住民が自らの健康生活を維持するための健康の相談窓口として、有益な知識・情報を積極的に提供し、適切なアドバイスを気軽に受けられる環境を整備して、地域住民の健康維持・管理を支援する。	RF00040101	
2	地域包括ケアシステムにおけるかかりつけ薬剤師の役割を理解し、地域住民の介護・福祉を向上させるために地域連携を推進し、生活環境、生活の質(QOL)の維持・改善に尽力する。	RF00040102	
3	地域における医療、保健、介護、福祉等の疫学データを活用して、地域住民の健康状態及び地域独自の医療、保健、介護、福祉環境等の課題を把握するとともに、それらの課題改善への取り組みを科学的エビデンスに基づき検討し提案する。	RF00040103	
	<b>【F-4-2】 地域での公衆衛生、災害対応への貢献</b>	RF000402	3
	<学修目標>		
1	薬剤師として求められる地域住民の生活・衛生環境の保全、疾病予防や感染拡大防止による医療環境の維持・整備を実際の地域の中で実践し、地域住民の健康的な環境を確保する。	RF00040201	
2	住民・児童生徒に向けた保健知識の普及指導・啓発活動を実施して、住民・児童生徒の公衆衛生意識を向上し、生活環境の向上に積極的に寄与する。	RF00040202	
3	災害時に薬剤師が果たすべき役割や備え等を理解し、行動(シミュレーション)する。	RF00040203	

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	【F-5】 臨床で求められる基本的な能力	RF0005	
	【F-5-1】 医療・福祉・公衆衛生の現場で活動するための基本姿勢	RF000501	6
	<学修目標>		
1	個々の患者・生活者に寄り添い、身体的、心理的、社会的特徴の把握に努め、その想いを受け止めて患者・生活者を全人的・総合的に深く理解する。	RF00050101	
2	薬剤師として医療の中で求められる責任を自覚し、自らを律して行動するとともに、薬剤師としての義務及び法令を遵守する。医療の担い手として、豊かな人間性と生命の尊厳について深い認識を持ち、薬剤師の社会的使命を果たす。	RF00050102	
3	関係者と相互理解を図り、信頼関係を構築した上で、他者の意見又は記述された文章を正しく理解し、それに対する自分の意見を効果的な説明方法や手段を用いて明確に表現する。	RF00050103	
4	専門職がチームとして連携して活動を推進するため、チームの活動の活性化に積極的に貢献するとともに、チームの中での個人の責任を果たす。	RF00050104	
5	自己研鑽を続けることは医療・保健に携わる薬剤師の基本であることを理解し、薬学・医療の進歩に対応するために、医療・保健・介護・福祉・情報・科学技術など薬剤師を巡る社会的動向を把握する。	RF00050105	
6	医療の質的向上に貢献するため、再現性・信頼性・具体性のあるエビデンスの構築に努める。	RF00050106	
	【G】 薬学研究	RG	
	【G-1】 薬学的課題の探究と薬学研究に取り組む姿勢	RG0001	
	【G-1-1】 薬学的課題発見に向けた批判的思考と俯瞰的思考	RG000101	2
	<学修目標>		
1	薬学や医療に関する研究における学術的重要性や成果の社会的意義、推論・論証法について、科学的根拠に基づいた批判的思考により評価する。	RG00010101	
2	これまでの知見や情報の解析と評価に基づいた俯瞰的思考によって、自ら探究すべき薬学的課題を発見する。	RG00010102	
	【G-1-2】 薬学研究に取り組む姿勢	RG000102	1
	<学修目標>		
1	薬学や医療の発展に貢献する研究を適正に遂行する。	RG00010201	
	【G-2】 研究の実践	RG0002	
	【G-2-1】 研究課題の設定と研究計画の立案	RG000201	1
	<学修目標>		
1	薬学的課題の解決に向けて、科学的根拠に基づいた創造的思考により研究課題の設定と研究計画の立案を行い、研究に着手する。	RG00020101	
	【G-2-2】 研究の実施と成果の解析・考察	RG000202	3
	<学修目標>		
1	研究において求められる基本的な姿勢を理解し、自らの研究を科学的、倫理的、人道的に実施する。	RG00020201	
2	得られた成果について、創造的思考により解析・考察し、学術的意義、社会的な波及効果を評価することにより、自らの研究の結論を導く。	RG00020202	
3	研究成果の学術的な報告とこれに基づいた討論により、創造的思考を深める。	RG00020203	

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	【K】 教養・語学教育 <学修目標> 下記の学修目標のうち複数のものをバランスよく達成する。	RK	
	【K-1】 人と文化 【K-1】 人の価値観の多様性が、文化・習慣の違いから生まれることを、実例をあげて説明できる。 言語、歴史、宗教などを学ぶことによって、外国と日本の文化について比較できる。 文化・芸術に幅広く興味を持ち、その価値について討議する。 文化活動、芸術活動を通して、自らの社会生活を豊かにする。 日本社会の成り立ちについて、政治、経済、法律、歴史、社会学などの観点から説明できる。 日本の国際社会における位置づけを、政治、経済、地理、歴史などの観点から説明できる。 宇宙・自然現象に幅広く興味を持ち、人との関わりについて説明できる。 地球環境保護活動を通して、地球環境を守る重要性を自らの言葉で表現する。 ドイツ語の初級文法を説明できる。 ドイツ語で日常的会話ができる。 ヨーロッパ社会の文化事情を概説できる。 語学学習を通じて異文化に関する造形を深め、日本語と日本文化の良さを再認識する。 文章間の接続関係に注意しながら、議論の道筋をたどることができるようになる。 文章間の接続関係に注意することによって、より明確な表現ができるようになる。 経済学とはどのような学問か、概説できる。 日本経済の構造的特徴を説明できる。 社会問題に対する関心を高め、多様な視角から「現代の史的構造」を解明できる。 私たちがどんな社会に生きているか、それを経済の構造の転換に即して考察できる。 言語音にどのような単位があるか列挙できる。 言語音における音節、分節音を指摘できる。 言語音の産出の仕組みを言語音の調音器官や調音方法（調音部位・調音様式）に言及して説明できる。 音韻表示と音声表示の違いと関係を音韻規則に言及して説明できる。 語を構成する形態素を同定できる。 語の内部構造を同定できる。 接辞の種類を列挙できる。 句の内部構造を同定できる。 構造的に多義な句を同定し、可能な解釈をすべて指摘できる。 自然言語において階層構造に依存する関係の例を挙げるができる。	RK0001 RK0001 RK00010000	1
	【K-2】 人の行動と心理 【K-2-1】 人の行動とその成り立ち 行動と知覚、学習、記憶、認知、言語、思考、性格との関係について概説できる。 行動と人の内的要因、社会・文化的環境との関係について概説できる。 本能行動と学習行動について説明できる。 レスポント条件づけとオペラント条件づけについて説明できる。 社会的学習（モデリング、観察学習、模倣学習）について概説できる。 健康行動の理論（健康信念モデル、変化のステージモデルなど）について概説できる。	RK0002 RK00020100	1
	【K-2-2】 動機づけ 生理的動機、内発的動機、および社会的動機について概説できる。 欲求とフラストレーション・葛藤との関連について概説できる。 適応（防衛）機制について概説できる。	RK00020200	1
	【K-2-3】 ストレス 主なストレス学説について概説できる。 人生や日常生活におけるストレスラーについて例示できる。 ストレスコーピングについて概説できる。	RK00020300	1
	【K-2-4】 生涯発達 こころの発達の原理について概説できる。 ライフサイクルの各段階におけるこころの発達の特徴および発達課題について概説できる。 こころの発達にかかわる遺伝的要因と環境的要因について概説できる。	RK00020400	1
	【K-2-5】 パーソナリティ 性格の類型について概説できる。 知能の発達と経年変化について概説できる。 役割理論について概説できる。 ジェンダーの形成について概説できる。	RK00020500	1
	【K-2-6】 人間関係 人間関係における欲求と行動の関係について概説できる。 主な対人行動（援助、攻撃等）について概説できる。 集団の中の人間関係（競争と協同、同調、服従と抵抗、リーダーシップ）について概説できる。 人間関係と健康心理との関係について概説できる。 社会的対人認知の基本的特徴と過程について概説できる。 自己の成り立ちと環状について概説できる。 社会的態度の定義と態度変容の理論について概説できる。 主な対人関係の形成過程について概説できる。 対人関係を維持する理論について概説できる。 集団間の関係について概説できる。	RK00020600	1

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
[K-3] 薬学の基礎としての英語			
[K-3-1] 読む		RK0003	
科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。		RK00030100	1
科学、医療に関して英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。			
英文が表す意味・状況を説明できる。(知識・技能)			
代名詞・同意表現の先行詞を同定できる。(知識・技能)			
英語の語順に従い、英文を理解することができる。(知識・技能)			
文の関係を明示する含図語を同定することができる。(知識・技能)			
パラグラフごとに内容を要約することができる。(知識・技能)			
文章を記述文、物語文、論証文などの種類に分類することができる。(知識・技能)			
文章の種類に応じて、捨い読み、検索読みなどの読解技法を使い分けることができる。(知識・技能)			
文章の内容を時間的順序や空間的順序などに沿って整理することができる。(知識・技能)			
文章の内容を事実や意見などに分類することができる。(知識・技能)			
文章の内容や背景知識を基に明示されていない情報を推論することができる。(知識・技能)			
文章の論理構造を把握できる。(知識・技能)			
難しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。(知識・技能)			
難しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。(知識・技能)			
[K-3-2] 書く		RK00030200	1
自己紹介文、手紙文などを英語で書くことができる。			
自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			
科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			
科学、医療に関連する簡単な文章を英語で書くことができる。			
英語の句読法に従って、句読符号、大文字、斜字体などを使用することができる。(知識・技能)			
伝達したい意味・状況を英語で表現することができる。(知識・技能)			
英語のパラグラフの構成法に沿った文章を作成することができる。(知識・技能)			
代名詞・同意表現などの照応表現を使用することができる。(知識・技能)			
含図語を使用し、文の関係を明示することができる。(知識・技能)			
時間的順序や空間的順序などに沿った文章を作成できる。(知識・技能)			
論証文において事実と意見を区別して書くことができる。(知識・技能)			
[K-3-3] 聞く・話す		RK00030300	1
英語の基礎的音声を聞き分けすることができる。			
英語の会話を聞いて内容を理解して要約できる。			
英語による簡単なコミュニケーションができる。			
科学、医療に関連する代表的な用語を英語で発音できる。			
日本語と英語の音韻体系における主要な違いを、例を挙げて説明できる。(知識)			
日本語の音韻体系にない英語の音を列挙できる。(知識)			
発音記号を音読することができる。(知識・技能)			
英語の母音の調音方法を説明できる。(知識)			
英語の子音の調音方法を説明できる。(知識)			
英語の母音を調音できる。(知識・技能)			
英語の子音を調音できる。(知識・技能)			
子音連続および子音で終わる閉音節を聞き取ることができる。(知識・技能)			
子音連続および子音で終わる閉音節を発音することができる。(知識・技能)			
強勢アクセントを伴う音節を聞き取ることができる。(知識・技能)			
強勢アクセントをつけて発音することができる。(知識・技能)			
上昇調、下降調などのイントネーションを聞き取ることができる。(知識・技能)			
上昇調、下降調などのイントネーションの発音ができる。(知識・技能)			
連結、同化、脱落、弱化などの起こった音声を聞き取ることができる。(知識・技能)			
[K-3-4] 語彙・文法		RK00030400	1
品詞の機能および分布を説明できる。(知識)			
主語、目的語などの文法関係を同定できる。(知識・技能)			
叙述関係、修飾関係を同定できる。(知識・技能)			
文脈に相応しい語彙を選択できる。(知識・技能)			
語の連語関係を同定できる。(知識・技能)			
辞書・文法書などの参照用書籍を有効に活用できる。			
[K-3-5] 読解・作文		RK00030500	1
文章の内容を、主張、根拠、具体例、帰結などに分類することができる。(知識・技能)			
書き手の見解を把握し、その他の論理的に可能な見解を指摘できる。(知識・技能)			
主張、根拠、具体例、帰結などを含むまとまりのある文章を書くことができる(知識・技能)			
[K-3-6] 会話・ヒアリング		RK00030600	1
薬の用法・用量、服薬期間、服薬時の注意事項、副作用などを平易な英語で説明することができる。(知識・技能)			
[K-3-7] 情報収集		RK00030700	1
患者の既往歴、生活習慣、嗜好品、アレルギーなどに関する情報を収集できる。(知識・技能)			

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	【K-4】薬学の基礎としての物理		
	【K-4-1】基本概念	RK0004	
	物理量の基本単位の定義を説明できる。	RK00040100	1
	SI単位系について説明できる。		
	基本単位を組み合わせた組立単位を説明できる。		
	物理量にはスカラー量とベクトル量があることを説明できる。		
	【K-4-2】運動の法則		
	運動の法則について理解し、力、質量、加速度、仕事などの相互関係を説明できる。	RK00040200	1
	直線運動、円運動、単振動などの運動を数式を用いて説明できる。		
	慣性モーメントについて説明できる。		
	【K-4-3】エネルギー		
	エネルギーと仕事の関係について説明できる。	RK00040300	1
	エネルギーの種々の形態（熱エネルギー、化学エネルギー、電気エネルギーなど）の相互変換について、例を挙げて説明できる。		
	【K-4-4】波動		
	光、音、電磁波などが波であることを理解し、波の性質を表す物理量について説明できる。	RK00040400	1
	【K-4-5】レーザー		
	レーザーの性質を概説し、代表的な応用例を列挙できる。	RK00040500	1
	【K-4-6】電荷と電流		
	電荷と電流、電圧、電力、オームの法則などを説明できる。	RK00040600	1
	抵抗とコンデンサーを含んだ回路の特性を説明できる。		
	【K-4-7】電場と磁場		
	電場と磁場の相互関係を説明できる。	RK00040700	1
	電場、磁場の中における荷電粒子の運動を説明できる。		
	【K-4-8】量子化学入門		
	原子のボーアモデルと電子雲モデルの違いについて概説できる。	RK00040800	1
	光の粒子性と波動性について概説できる。		
	電子の粒子性と波動性について概説できる。		
	【K-5】薬学の基礎としての化学		
	【K-5-1】物質の基本概念	RK0005	
	原子、分子、イオンの基本的構造について説明できる。	RK00050100	1
	原子量、分子量を説明できる。		
	原子の電子配置について説明できる。		
	周期表に基づいて原子の諸性質（イオン化エネルギー、電気陰性度など）を説明できる。		
	同素体、同位体について、例を挙げて説明できる。		
	【K-5-2】化学結合と分子		
	イオン結合、共有結合、配位結合、金属結合の成り立ちと違いについて説明できる。	RK00050200	1
	分子の極性について概説できる。		
	共有結合性の化合物とイオン結合性の化合物の性質（融点、沸点など）の違いを説明できる。		
	代表的な結晶構造について説明できる。		
	代表的な化合物の名称と構造を列挙できる。		
	【K-5-3】化学反応を定量的に捉える		
	溶液の濃度計算と調製ができる。	RK00050300	1
	質量保存の法則について説明できる。		
	代表的な化学変化を化学量論的に捉え、その量的関係を計算できる。		
	酸と塩基の基本的な性質および強弱の指標を説明できる。		
	酸化と還元について電子の授受を含めて説明できる。		
	【K-5-4】化学反応の基本操作		
	化合物の秤量、溶解、抽出、乾燥、ろ過、濃縮を実施できる。	RK00050400	1
	【K-6】薬学の基礎としての生物		
	【K-6-1】生体の基本的な構造と機能	RK0006	
	多細胞生物である高等動物の成り立ちを、生体高分子、細胞、組織、器官、個体に関係つけて概説できる。	RK00060100	1
	動物、植物、微生物の細胞について、それらの構造の違いを説明できる。		
	細胞内器官の構造と働きについて概説できる。		
	細胞膜の構造と性質について概説できる。		
	ウイルスとファージについて概説できる。		
	【K-6-2】生体の調節機構		
	生体の持つホメオスタシス（恒常性）について概説できる。	RK00060200	1
	生体の情報伝達系、防御機構（神経系、内分泌系、免疫系）について概説できる。		
	【K-6-3】エネルギー		
	運動エネルギー、ポテンシャルエネルギー、熱エネルギー、化学エネルギーなどの相互変化について例をあげて説明できる。	RK00060300	1
	【K-6-4】代謝		
	代謝（異化、同化）について説明できる。	RK00060400	1
	独立栄養生物と従属栄養生物について説明できる。		
	嫌気呼吸および酸素呼吸について概説できる。		
	光合成について概説できる。		

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	【K-6-5】細胞分裂・遺伝・進化 細胞の増殖、死について概説できる。 遺伝とDNAについて概説できる。 遺伝の基本法則（メンデルの法則など）を説明できる。 遺伝子の組換え、連鎖を説明し、組換え価を求めることができる。 染色体地図について説明できる。 減数分裂について概説できる。 性染色体による性の決定と伴性遺伝を説明できる。 進化の基本的な考え方を説明できる。	RK0060500	1
	【K-6-6】発生・分化 卵割について説明できる。 個体と器官が形成される発生過程を概説できる。 外胚葉、中胚葉、内胚葉から分化する組織を特定できる。 細胞の分化の機構について概説できる。 多細胞生物における、細胞の多様性と幹細胞の性質について概説できる。	RK0060600	1
	【K-6-7】誕生・成長・老化 生殖の過程（性周期、妊娠、出産など）を概説できる。 ヒトの成長、老化に関する基本的現象を説明できる。 老化に関する学説を概説できる。	RK0060700	1
	【K-6-8】生態系 個体群の変動と環境変化との関係について例示できる。 生態系の構成について概説できる。	RK0060800	1
	【K-6-9】総合演習 植物組織の切片を作製し、顕微鏡で観察しながら構造を説明できる。 動物の組織標本を顕微鏡で観察し、構造を説明できる。 倫理に配慮して実験動物を取扱う。 実験動物を解剖し、臓器の配置および形態を観察する。	RK0060900	1
	【K-7】薬学の基礎としての数学・統計学	RK0007	
	【K-7-1】数値の扱い 大きな数や小さな数をSI接頭語、べき、および対数を使い、的確に表すことができる。 有効数字の概念を説明し、有効数字をきむ値の計算ができる。	RK00070100	1
	【K-7-2】種々の関数 指数関数および対数関数を、式およびグラフを用いて説明できる。 三角関数を、式およびグラフを用いて説明できる。	RK00070200	1
	【K-7-3】微分と積分 極限の基本概念を概説できる。 導関数の基本概念を理解し、代表的な関数の微分ができる。 原始関数の基本概念を理解し、代表的な関数の不定積分および定積分ができる。 微分方程式の成り立ちを理解し、基本的な微分方程式（変数分離型）の一般解と特殊解を求めることができる。 偏微分について概説できる。 関数の極限の基本概念を理解し、それを用いた計算ができる。 平均値の定理（ロル、ラグランジュ、コーシー）について説明できる。 ロピタルの定理を理解し、それを用いて不定形極限の計算ができる。 関数の凹凸・増減表を作成し、グラフを描くことができる。 高次導関数を用いた関数の多項式近似について説明できる。 2変数関数の偏微分と全微分の基本概念を理解し、それを用いた計算ができる。 無限積分の基本概念を理解し、それを用いた計算ができる。 微分方程式の成り立ちを理解し、基本的な微分方程式（1階線型）の一般解と特殊解を求めることができる。	RK00070300	1
	【K-7-4】確率 場合の数、順列、組合せの基本概念を理解し、それを用いた計算ができる。 二項分布および正規分布について概説できる。 確率の定義と性質を理解し、計算ができる。 二項分布の確率を正規分布で近似して計算できる。 中心極限定理について概説できる。	RK00070400	1
	【K-7-5】統計の基礎 測定尺度（間隔、比率尺度、順序尺度、名義尺度）について説明できる。 大量のデータに対して、適切な尺度を選び、表やグラフを用いて的確に表すことができる。 平均値、分散、標準偏差、標準偏差などの基本的な統計量について説明し、求めることができる。 データの相関と、それに基づく基本的な回帰分析（直線〔線形〕回帰）ができる。 母集団と標本の関係について説明できる。 検定の意義について説明できる。 母平均の点推定法と区間推定法の概要を説明し、実施できる。 母平均の検定法（正規分布による検定、t検定）の概要を説明し、実施できる。 母比率の検定法（二項検定、正規分布による検定）の概要を説明し、実施できる。 二群間の等分散仮説のF検定の概要を説明し、実施できる。 統計量の不偏性について概説できる。 信頼度の意味を概説できる。	RK00070500	1

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
【K-8】情報リテラシー		RK0008	
【K-8-1】基本操作		RK00080100	1
コンピューターを構成する基本的装置の機能と接続方法を説明できる。			
スマートフォン、タブレット端末などのモバイル機器を安全かつ有効に利用できる。			
電子データの特徴を知り、適切に取り扱うことができる。			
インターネットの仕組みを概説できる。			
無線LANを使用するための注意点について概説できる。			
マナーを守り、電子メールの送信、受信、転送などができる。			
インターネットに接続し、Webサイトを閲覧できる。			
検索サイト、ポータルサイトの特徴に応じて、必要な情報を収集できる。			
【K-8-2】ソフトウェアの利用		RK00080200	1
ソフトウェア使用上のルール、マナーを守る。			
ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトを用いることができる。			
グラフィックソフト、化学構造式描画ソフトを用いることができる。			
画像ファイルの形式とそれぞれの特徴に応じて、データを適切に取り扱うことができる。			
データベースの特徴と活用について概説できる。			
コンピュータを動作させるソフトウェアの種類と役割を説明できる。			
【K-8-3】セキュリティと情報倫理		RK00080300	1
ネットワークセキュリティについて概説できる。			
アカウントとパスワードを適切に管理できる。			
データやメディアを適切に管理できる。			
著作権、肖像権、引用と転載の違いについて説明できる。			
ネットワークにおける個人情報の取り扱いに配慮する。			
ソーシャルネットワークサービス（SNS）の種類と特徴、留意すべき点について説明できる。			
情報倫理、セキュリティに関する情報を収集することができる。			
コンピューターウイルスの侵入経路に応じて、適切な予防策を講じることができる。			
地震や停電などの不測の事態に対し、システムやデータの安全性を確保する方法を説明できる。			
【K-9】プレゼンテーション		RK0009	
【K-9-1】プレゼンテーションの基本		RK00090100	1
プレゼンテーションを行うために必要な要素を列挙できる。			
目的に応じて適切なプレゼンテーションを構成できる。			
目的、場所、相手に応じた、わかりやすい資料を作成できる。			
【K-9-2】文書によるプレゼンテーション		RK00090200	1
定められた書式、正しい文法に則って文書を作成できる。			
目的（レポート、論文、説明文書など）に応じて適切な文書を作成できる。			
【K-9-3】口頭・ポスターによるプレゼンテーション		RK00090300	1
口頭発表とポスター発表の違いと特徴について説明できる。			
課題に関して意見をまとめ、決められた時間内で発表できる。			
効果的なプレゼンテーションを行う工夫をする。			
質問に対して的確な応答ができる。			
他者のプレゼンテーションに対して、優れた点および改良点を指摘できる。			
【K-10】保健体育		RK0010	
【K-10-1】健康の保持・増進		RK00100100	1
健康的な生活とは何かについて概説できる。			
身体活動、栄養、および休養が健康に及ぼす影響について説明できる。			
健康の保持、増進に有用な身体活動の計画が立案できる。			
嗜好品が健康に及ぼす影響について説明できる。			
【K-10-2】トレーニングの基礎		RK00100200	1
トレーニングを行う意義について概説できる。			
トレーニングを行う上での留意点について説明できる。			
眼力トレーニングの効果と必要性について説明できる。			
眼力トレーニングを実践する。			
筋力トレーニングの効果と必要性について説明できる。			
筋力トレーニングを実践する。			
持久力トレーニングの効果と必要性について説明できる。			
持久力トレーニングを実践する。			
伸展性トレーニングの効果と必要性について説明できる。			
伸展性トレーニングを実践する。			
【K-10-3】身体活動		RK00100300	1
身体状況を把握することができる。			
シャトル、又はボールを各種打法により打つことができる。			
ルールを理解し、ゲーム方式を決め、ゲーム運営をスムーズに進行できる。			
誰とでもコミュニケーションをとることができる。			

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	【K-11】 社会学	RK0011	
	【K-11】 社会学	RK00110000	1
	社会学の課題や歴史について説明でき、社会学がどのような学問であるか概説できる。		
	社会学の方法について説明できる。		
	社会学的アプローチから社会福祉について説明でき、社会政策と福祉政策について整理することができる。		
	福祉国家から福祉社会への歴史的流れについて説明でき、また高齢者介護について社会学的観点から説明できる。		
	社会福祉の理念と方向性について説明でき、福祉的視点を身につける。(知識・態度)		
	社会福祉と家族福祉との関連について説明でき、また家族の福祉機能について説明できる。		
	家族形態・家族意識の変化、現代家族の特質について説明できる。		
	日本の児童虐待の現状について、社会学の観点から説明できる。		
	日本のドメスティックバイオレンスの現状について、社会学の観点から説明できる。		
	日本の高齢者虐待の現状について、社会学の観点から説明できる。		
	日本の高齢者介護の現状について、社会学の観点から説明できる。		
	【K-12】 科学実習の基礎	RK0012	
	【K-12】 科学実習の基礎	RK00120000	1
	科学実習時における身だしなみの必要性を説明できる。		
	科学実習に適切な身だしなみを整える。		
	実験を安全に行うための注意点について説明できる。		
	安全に実験を行うことができる。		
	実験ノートの意義を説明できる。		
	適切な内容・様式で実験ノートを書くことができる。		
	実験レポートの意義を説明できる。		
	適切な内容・様式で実験レポートを書くことができる。		
	実験器具・装置を列挙できる。		
	実験器具・装置を正確に操作することができる		
	実験器具・装置を組み合わせて用いて、目的とする実験を行うことができる。		
	【K-13】 気象学	RK0013	
	【K-13】 気象学	RK00130000	1
	地球大気の大気構造について概説できる。		
	オゾン層の役割について概説できる。		
	高度と気圧の関係を説明できる。		
	水蒸気に関連する基本的な用語(分圧・潜熱・飽和水蒸気圧)の意味を説明できる。		
	雲粒の形成における不純物の役割について説明できる。		
	雨滴の形成過程を概説できる		
	太陽放射、黒体放射、地球放射の違いを説明できる。		
	エネルギーを輸送する大気の運動について概説できる。		
	気圧傾度力と空気の動きの関係を説明できる。		
	コリオリの力を用いると地球上に固定した座標系でニュートンの運動の法則が適用できることを説明できる。		
	地衝風について説明できる。		
	天気図の見方を説明できる。		
	大気と海洋の相互作用について説明できる。		
	地球温暖化の実態について説明できる。		
	異常気象のメカニズムを概説できる。		
	異常気象と気候システムの関係性を概説できる。		
	特定地域(新潟)の気象・気候の特徴を概説できる。		
	特定地域(新潟)に顕著な大気現象について概説できる。		

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	【K-14】新潟の風土と歴史	RK0014	
	【K-14】新潟の風土と歴史	RK00140000	1
	原始古代に新潟で生活していた人々の生活様式を概説できる。		
	原始古代の新潟地域の産業について概説できる。		
	「越の国」から『越後の国』の形成期に活躍した人物およびその歴史上の事実について、年代別／地域別に概説できる。		
	新潟県内の仏教各宗派の分布とその歴史的背景について説明できる。		
	藩／天領から「新潟県」成立に至る経緯について概説できる。		
	新潟県における近代産業のについて概説できる。		
	新潟県の風土病の原因とその影響について概説できる。		
	新潟県に根付いた風習について概説できる。		
	新津地域の文化的特色を概説できる。		
	【K-15】経済学	RK0015	
	【K-15】経済学	RK00150000	1
	経済学でよくつかわれる用語の意味を概説できる。		
	市場における価格が決まる要因について説明できる。		
	完全競争市場における消費者の行動について需要曲線を用いて説明できる。		
	完全競争市場における生産者の行動について供給曲線を用いて説明できる。		
	完全競争市場における競争市場の均衡と余剰の関係を説明できる。		
	市場介入によって得られる効果や影響について概説できる。		
	市場の失敗について例を用いて説明できる。		
	経済学者の考え方と一般人の考え方の違いを概説できる。		
	経済モデルについて概説できる。		
	経済学に用いられる数学・計算を実施できる。		
	完全競争の利点と欠点を説明できる。		
	政府の市場介入がどのような結果をもたらすかを説明できる。		
	経済学における弾力性について概説できる。		
	経済学における余剰について説明できる。		
	限界分析について説明できる。		
	経済学における不確実性について概説できる。		
	保険制度を経済学的観点から説明できる。		
	【K-16】法学	RK0016	
	【K-16】法学	RK00160000	1
	わが国の法体系について概説できる。		
	法律の文章構造の特徴について説明できる。		
	公法と私法の違いについて説明できる。		
	実体法と手続法の違いについて説明できる。		
	制定法と判例の意味について概説できる。		
	国際条約と国内法の関係について概説できる。		
	【K-17】グローバル化に対応する言語	RK0017	
	【K-17-1】ドイツ語	RK00170100	1
	ドイツ語の簡単な発音上の規則を理解し、発音できる。		
	ドイツ語の会話表現を列挙できる。		
	ドイツ語の中級文法を説明できる。		
	初歩的なドイツ語の文章を読み、訳すことができる。		
	中級程度のドイツ語の文章を読み、訳すことができる。		
	【K-17-2】中国語	RK00170200	1
	中国語の発音上の規則を理解し、発音できる。		
	中国語の初級文法を説明できる。		
	【K-17-3】ハンガール	RK00170300	1
	ハンガールの発音上の規則を理解し、発音できる。		
	ハンガールを用いた表現を列挙できる。		
	韓国語で基本的な会話ができる。		
	韓国語の基本的な文法を説明できる。		

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	【K-17-4】ロシア語	RK00170400	1
	キリル文字（ロシア語のアルファベット）が書くことができる。		
	ロシア語の発音の規則に従い、単語を読むことができる。		
	単語のアクセント及び文章のイントネーションに気を付けて短い文章を読むことができる。		
	子音の有声化、無声化を理解する。		
	簡単な挨拶ができる。		
	硬母音及び硬音記号を理解し、正しく発音できる。		
	名詞には男性名詞・女性名詞・中性名詞があることを理解する。		
	簡単な会話ができる。		
	名詞の性と数に合わせて、所有代名詞の語尾を変化させることができる。		
	6種類の人称代名詞を理解する。		
	人称代名詞に合わせて、動詞（第一変化）の語尾を変化させることができる。		
	動詞の第二変化及び特殊変化を理解する。		
	名詞の単数形を複数形にすることができる。		
	名詞の性・数に応じて形容詞及び疑問詞（как ой）を変化させることができる。		
	名詞には格があることを説明できる。		
	前置詞と名詞の前置格を使い、場所を表す表現ができる。		
	с n 動詞を人称代名詞に応じて変化させることができる。		
	名詞及び人称代名詞のに応じて対格を変化させることができる。		
	動詞の過去形を数、性に応じて変化させることができる。		
	名詞の造格及び生格を理解し会話で使うことができる。		
	ロシアの文学・音楽・生活など全般的に廣国を理解し、説明することができる。		
	ロシア語で自己紹介ができる。		
	【K-18】新潟の食文化	RK0018	
	【K-18】新潟の食文化	RK00180000	1
	西洋社会の食文化の歴史を紐解き、その成り立ちを概説できる。		
	日本の歴史と食文化の成り立ちを概説できる。		
	新潟の食文化の地域特性と歴史的背景について概説できる。		
	【K-19】文化人類学	RK0019	
	【K-19】文化人類学	RK00190000	1
	文化を理解するための視点と、調査方法について説明できる。		
	家族・親族を理解するための基礎的な概念とその多様性について説明できる。		
	日本の伝統的な家と親族関係の特徴について説明できる。		
	人の誕生が文化によって規定されていることを説明できる。		
	日本の妊娠出産に関する観念が伝統的な妊娠・出産についての観念と密接にかかわっていることを説明できる。		
	結婚の形式、夫婦関係、夫婦生活を行う場所の多様性について説明できる。		
	日本の結婚の形式や夫婦のあり方が多様であることを説明できる。		
	病気や治療が文化に強く規定されてきたことを説明できる。		
	人の死の把握や死に関する儀礼の多様性と、死に関する観念が生物学的な死とは異なることを説明できる。		
	日本文化における人の死や死者に関する儀礼の特徴を説明できる。		
	日本の葬式で赤飯、白い服などが用いられる文化的背景、変化の経過について説明できる。		
	【K-20】倫理哲学	RK0020	
	【K-20】倫理哲学	RK00200000	1
	化学物質による環境汚染の問題点について説明できる		
	自然は、有機的な連関をなしていて、人間の思う通りにはいかないことを説明できる。		
	ゲーム理論を用いて、エコシステムが共倒れに到ることを説明できる。		
	再生医療の優位性について説明できる。		
	知らないままではいたずらに混乱しかねない生殖補助医療について、概説できる。		
	微笑みに満ちた人生を送れるように、機知を磨くことができる。		
	一瞬の姿に、全人生が凝縮されることを説明できる。		
	書話で語られている、人生のパラドックスやジレンマを生き延びる生き方について説明できる。		
	気分が鬱陶気と通感し合う中で、決して主観的で気紛れなものでないことを説明できる。		
	人生の物語を織り成す力を身につける。		

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
	【K-21】情報処理学	RK0021	
	【K-21】情報処理学	RK00210000	1
	作業をプロセスと判断に分割できる。		
	プロセスと作業を組み合わせて作業を構築できる。		
	プロセスの記号の違いを説明できる。		
	簡単なプロセスをフローチャートで記述できる。		
	構造化フローチャートと単純フローチャートの違いを説明できる。		
	アルゴリズムの定義を概説できる。		
	論理関数を用いた論理式を記述できる。		
	GUI型プログラミング言語を用いて簡単な作業を記述できる。		
	【K-21-1】AI・データサイエンスの基礎	RK00210100	1
	情報処理と、情報の「デジタル化」の歴史を概説できる。		
	「データ」とは何かを概説できる。		
	情報とデータの違いを説明できる。		
	情報の「処理」とは何かを説明できる。		
	情報のデジタル化と取扱量の関連性を説明できる。		
	AIの技術と活用領域について概説できる。		
	深層学習や強化学習のためのソフトウェアの種類と具体的な活用方法を列挙できる。		
	estatを用いたデータを収集し、各種解析を実施できる。		
	【K-22】医薬品歴史学	RK0022	
	【K-22】医薬品歴史学	RK00220000	1
	先史・古代文明時代における医療と薬物を説明できる。		
	ギリシャ・ローマ時代における医療と薬学の発展を説明できる。		
	インド、中近東地域の伝統医療と薬学の発展について概説できる。		
	古代中国における医療と薬物を概説できる。		
	古代から江戸時代における日本の医療と薬学の観点から概説できる。		
	漢方医薬学の発展を説明できる。		
	19世紀における薬学と欧米の薬学に関して説明できる。		
	化学療法薬、抗生物質の発見など近代医療の始まりについて説明できる。		
	論理的なドラッグデザインに関して、具体例をあげて説明できる。		
	微生物創薬について、具体例をあげて説明できる。		
	ゲノム情報と分子標的薬について説明できる。		
	【K-23】昆虫学	RK0023	
	【K-23】昆虫学	RK00230000	1
	昆虫の外部形態について概説できる。		
	昆虫の多様性について説明できる。		
	昆虫の進化・分類について概説できる。		
	外来昆虫について、その種類や生態的意義を概説できる。		
	毒をもつ昆虫と毒について概説できる。		
	昆虫社会について概説できる。		
	【K-24】運動生理	RK0024	
	【K-24】運動生理	RK00240000	1
	日常生活の運動、身体活動、動作における脳神経系の制御について説明できる。		
	骨格筋の特性と筋力発揮の特徴を説明できる。		
	運動技術の上達における脳神経の変化について説明できる。		
	日常生活や運動時の呼吸量のしくみとその重要性を説明できる。		
	日常生活や運動時の循環系のしくみとその重要性を説明できる。		
	細胞が生存するためのエネルギー代謝の役割と、運動時の酸素消費、体力との関係を説明できる。		
	栄養の基礎代謝、運動時での代謝を理解し、食生活と身体活動のカロリー計算ができる。		
	運動がストレスになること、運動で動員されるさまざまなホルモンと運動強度の関係を概説できる。		
	運動と環境による体温調節、運動時の熱中症について説明できる。		
	運動、加齢、健康の関係や、これからの社会生活で健康に運動がどのように重要であるかを説明できる。		

番号	新潟薬科大学 薬学部 学修目標	目標番号	目標番号数
[K-25] 食品の安全管理		RK0025	
[K-25] 食品の安全管理		RK00250000	1
食の安全とは何か理解し、説明できる。(知識)			
食品安全性確保のシステムについて理解し、説明できる。(知識)			
HACCPの歴史、HACCPで出来ることとできないことについて理解し、説明できる。(知識)			
HACCPの土台となるものにはどのようなものがあるのか理解し、説明できる。(知識)			
HACCPの土台となるものの重要性について理解し、説明できる。(知識)			
HACCP計画をつくる前に完了しておくべき5つの前手順について理解し、説明できる。(知識)			
生物学的、科学的、物理的の3種の危害要因とその制御法について理解し、説明できる。(知識)			
必須管理点をどのように設定するのか理解し、説明できる。(知識)			
HACCP計画書式Aを作成できる。(知識・技能)			
危害要因の分析方法について理解し、説明できる。(知識)			
必須管理点ごとに許容限界、モニタリング、是正措置の設定法について理解し、説明できる。(知識)			
必須管理点でのモニタリングと是正措置の設定法について理解し、説明できる。(知識)			
HACCP計画書式Bを作成できる。(知識・技能)			
必須管理点での管理方法について理解し、説明できる。(知識)			
検証とHACCP計画を記録に残す重要性について理解し、説明できる。(知識)			
HACCP計画書式Cを作成できる。(知識・技能)			
検証と記録付けについて理解し、説明できる。(知識)			
安全性確保のためにはHACCPの他にどのような手段があるのか理解し、説明できる。(知識)			
[K-26] 商品開発論		RK0026	
[K-26] 商品開発論		RK00260000	1
マーケット調査の方法を説明できる。			
商品試作の方法を説明できる。			
法規チェックの方法を説明できる。			
食品表示作成法を説明できる。			
健康表示、強調表示、栄養成分表示法について説明できる。			
コスト試算などについての方法を説明できる。			
衛生的な食品の製造について、工場の問題点を指摘できる。			
市場調査の手法について説明できる。			
マーケティングの目的や評価の概念を説明できる。			
商品コンセプトの構築方法について説明できる。			
食品原料や素材のチェックすべき項目について説明できる。			
消費者が、購買意欲をもつであろう商品を企画できる。			
消費者調査に基づき、その商品改善を提案できる。			
個人の思い込みやこだわりから脱却して、よりブラッシュアップされた商品を提案できる。			
自分のアイデアを具現化した商品を販売することで、社会の一員としての実感をもつ。			
製品製造会社、パッケージ製造会社、ラベル製造会社、販売会社、などの関連するパートナーに対して、責任をもった行動がとれる。			
データに基づいた商品コンセプトを策定できる。			
原料について、適切なものかどうか判断できる。			
アレルギーコンタミについて、適切な判断ができる。			
衛生的な作業標準書が作成できる。			

【K】教養・語学教育の履修モデルについて

＜必修＞		＜教養選択＞		＜専門選択＞	
RK00030100	【K-3】薬学の基礎としての英語	RK00010000	【K-1】人と文化	RK00220000	【K-22】医薬品歴史学
～RK00030700		RK00020100	【K-2】人の構造と心理	RK00230000	【K-23】昆虫学
RK00040100	【K-4】薬学の基礎としての物理	～RK00020600		RK00240000	【K-24】運動生理
～RK00040800		RK00100200	【K-10】保健体育	RK00250000	【K-25】食品の安全管理
RK00050100	【K-5】薬学の基礎としての化学	～RK0010300			
～RK00050400		RK00110000	【K-11】社会学		
RK00060100	【K-6】薬学の基礎としての生物	RK00130000	【K-13】気象学		
～RK00060900		RK00140000	【K-14】新潟の風土と歴史		
RK00070100	【K-7】薬学の基礎としての数学・統計学	RK00150000	【K-15】経済学		
～RK00070500		RK00160000	【K-16】法学		
RK00080100	【K-8】情報リテラシー	RK00170100	【K-17】グローバル化に対応する言語		
～RK00080300		～RK00170400			
RK00090100	【K-9】プレゼンテーション	RK00180000	【K-18】新潟の食文化		
～RK00090300		RK00190000	【K-19】文化人類学		
RK00120000	【K-12】科学実習の基礎	RK00200000	【K-20】倫理哲学		
RK00210100	【K-21-1】AI・データサイエンスの基礎	RK00210000	【K-21】情報処理学		
		～RK00210100			
		RK00260000	【K-26】商品開発論		
上記学修目標を修得する		上記学修目標をバランスよく修得する		上記学修目標をバランスよく修得する	